

## 副読本 解説書 (案)

### この解説書の位置づけ

この解説書は、副読本をご利用いただく際の参考として、先生用に作成したものです。この副読本に関してご不明な点がございましたら、最終ページの連絡先へご連絡をお願いいたします。

### 〇活用に当たって

札幌市は、令和4年(2022年)に市制施行100周年を迎えました。魅力的なこのまちを次の世代に引き継いでいくため、持続可能なまちづくりを進めていくとともに、都市としての価値を創造し、高めていくことが必要です。

そこで、市民、企業、行政などの多様な主体が札幌市の目指すべきまちの姿とまちづくりの方向性を共有し、共に取り組んでいくために、次の新たな100年の礎となる今後10年のまちづくりの基本的な指針として、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定しました。

この第2次戦略ビジョンの内容を、将来を担う子どもたちにも広く周知し、今後の札幌の将来を考えてもらうことが、より良い札幌の未来を創造していくために重要であると考えます。

つきましては、この第2次戦略ビジョンを題材とした中学校3年生社会科の副読本を作成いたしましたので、公民的分野の教科書「新しい社会 公民」の終章「よりよい社会を目指して」の授業にご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 〇札幌の歴史

<ポイント>

- 〇明治2年(1869年)、明治政府は北海道に「開拓使」を設置
- 〇大正11年(1922年)に「札幌市」が誕生し、本格的な都市基盤の整備が開始⇒札幌市制の始まり
- 〇昭和47年(1972年)の冬季オリンピック大会を契機に、地下鉄や地下街など都市の骨格となるインフラ整備が進んだ
- 〇平成9年(1997年)には現在の10区体制になり、平成27年(2015年)には人口が195万人に到達

### 〇札幌市の魅力・特徴

<ポイント>

- 〇市民愛着度の高さ  
「札幌の街に対する愛着度」96%  
交通利便性の良さ、自然の多さ、四季の豊かさが理由の上位
- 〇豊かな自然環境  
緑被率(まちの中に林や農地などの緑がある割合)政令市のなかでもかなり上位  
冷涼な夏の気候  
人口100万人以上の大都市で唯一、年間5mもの降雪量⇒世界的にも珍しい、雪と共存するまち
- 〇都市としての高いブランドイメージ  
民間調査機関による市区町村魅力度ランキングで1位(2022年調査)⇒全国的に高い評価
- 〇観光満足度の高さ  
年間を通じて多彩なイベントが開催(YOSAKOIソーランまつり、さっぽろオータムフェスト、さっぽろ雪まつり等)  
「食」や「ショッピング」等の都市観光に強みを持ち、交通アクセスの利便性も高い

⇒国内外の観光客から高い評価

※資料ボリューム削減のため、下記項目は省略予定

○都市機能の集積、身近な文化芸術、環境面での高い評価、スタートアップ・エコシステムの拠点としての評価、食の魅力、住みやすさ、財政の健全性

## ○札幌市をとりまく社会経済情勢

<ポイント>

○価値観やライフスタイルの多様化

年齢、性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、互いの個性や多様性を認め合う社会の実現が求められる

○人生100年時代の到来

少子高齢化の進展⇒生涯にわたって社会参加できる環境整備や健康寿命の延伸が求められる

○デジタル技術の急速な進歩

社会全体のデジタル化を進めるとともに、デジタル格差による不公平が生じない対策も求められる

○気候変動などに伴う地球規模での環境保全の動き

省エネの促進や再エネへの転換等を進め、持続可能な脱炭素社会の形成が求められる

○都市のリニューアル

1972年札幌オリンピックを契機に集中的に整備した公共施設等の老朽化が進行

一方、2030年度末に北海道新幹線の札幌延伸・開業予定

まちが大きく変化する機会を最大限活用した都市のリニューアルが求められる

○頻発する自然災害

自信や大雨、大雪等、自然災害が頻発し、各地域で大きな被害

被害や影響を最小限に抑えていくことが求められる

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大

日常生活等への影響を最小限に抑え、社会変化にも対応していくことが求められる

## ○札幌市の人口

<ポイント>

○これまで増加の一途をたどってきた札幌市の人口は減少局面を迎え、人口構造に変化が生じる予想

○65歳以上の高齢者人口は2040年代にピークを迎え、約4割を占める見込み

令和2年（2020年）の合計特殊出生率は1.09⇒全国平均に比べてかなり低い

○20歳代の若年層の道外への転出超過の傾向も続いており、生産年齢人口は更に減少

推計では2040年代に100万人を割る見込み

<人口減少の問題>

労働者・消費者の減少による、経済規模の縮小、公共交通の利用者減少により、公共交通の維持が困難になる、特に郊外の住宅地の人口密度が低下することにより、上下水道などの都市基盤の維持保全や除排雪の効率が低下 等

<高齢化の問題>

孤独死の増加、買い物などに不便を感じる市民の増加、外出機会が少なくなることにより、地域コミュニティが衰退 等

## ○目指すべき都市像と重要概念

これからの札幌市…人口減少の緩和を進めることはもとより、人口構造を始めとする様々な変化に大きな影響を受けず、その変化を積極的に生かし持続的に成長していくことが必要



札幌市の特徴である「ゆき」や「みどり」といった自然の恵みが守られ、生かされた中で、あらゆる世代の多様な「ひと」が交わり新しい時代にふさわしい真に豊かな暮らしを創ること、様々な分野において新たな価値を生み出すことで、「世界をリードする持続可能な都市」を目指す



そのためには、誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなっていること、誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できていること、誰もが先端技術などにより快適に暮らし、新たな価値の創出に挑戦できることが重要

### <目指すべき都市像>

「ひと」「ゆき」「みどり」の織りなす輝きが、豊かな暮らしと新たな価値を創る、持続可能な世界都市・さっぽろ

### <まちづくりの重要概念（キーワード）>

ユニバーサル（共生）	誰もが多様性を尊重し、互いに手を携え、心豊かにつながること。また、支える人と支えられる人という一方向の関係性を超え、双方向に支え合うこと。 <u>⇒誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会</u> を目指すための概念（キーワード）
ウェルネス（健康）	誰もが幸せを感じながら生活し、生涯現役として活躍できること。身体的・精神的・社会的に健康であること。 <u>⇒誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会</u> を目指すための概念（キーワード）
スマート（快適・先端）	誰もが先端技術などの利点を享受でき、生活の快適性やまちの魅力が高まっていること。誰もが新たな価値や可能性の創出に向けて、挑戦できること。 <u>⇒「誰もが先端技術などにより快適に暮らし、新たな価値の創出に挑戦できる社会」</u> を目指すための概念（キーワード）

## ○レポート作成

ここでは、レポート作成の手順をご説明しますが、これによらず、自由に授業を進めていただいても結構です。レポート作成は、生徒が自分の考えで自由に記載していくものと考えますが、参考として「レポートへの記載例」を示します。

(1) テーマを選択しよう
テーマ「ユニバーサル（共生）」「ウェルネス（健康）」「スマート（快適・先端）」「人口減少緩和」のうち、一つを選択します。また、なぜそのテーマを選択したのか理由を記載します。
(2) 資料を読み取ろう
テーマを選択する際、特に注目した資料とその資料から読み取ったことを記載します。
(3) 札幌市の将来の課題を考えよう
資料からの読み取りや、知っていることから、将来の課題などを記載します。
(4) 課題を解決する取組を考えよう
(3) で示した課題を解決するために取り組むべきことを記載します。
(5) より良いまちにしていこうためにはどうすればよいか考えよう
生徒の自由な発想で、札幌をよりよくしていくための取組や、自分たちがどんなことに関わることができるのかを記載します。

## <レポートへの記載例>

	ユニバーサル	ウェルネス	スマート	人口減少緩和
(1)				
(2)	作成中			
(3)				
(4)				
(5)				

## ○資料編

作成中

この副読本に関するお問い合わせ先 札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 企画課 TEL : 211-2192 FAX : 218-5109 E-Mail : ki.kikaku@city.sapporo.jp
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------